

2026年 第33回 23区チャンピオンシップ大会(結果)

当初予定の2月8日が雨天のため 2月22日(日)に延期され、舎人公園テニスコートで開催されました。延期になったこともあり 欠場者も散見されました。

豊島区代表の選手の皆さんの奮闘の結果、女子 S の遠藤選手は準優勝、D 山口・鈴木選手はベスト4の好成績をおさめ、ともに東京都チャンピオンシップの出場権(3月29日開催予定)を獲得しました。

【男子】

シングルス 大竹健太さん(天米)

1R × 5-7 江戸川区

ダブルス 弘岡駿治さん・小林宰さん(郵政クラブ) WOL

(黒沢監督コメント)

S 大竹さん

1st ゲームを粘りから先にブレイクしたが、しばらくはブレイク合戦となる。相手は徹底した攻め、こちらはひたすら粘り。攻め切られるか粘り切るかのせめぎあいのまま5-5まで行ったが、最後は攻め切られて5-7で惜敗。

「最後は粘り切る体力が足りなかった。」との本人談



大竹さん

【女子】

シングルス 遠藤 千春さん (個人)

1R ○ 6-2 目黒区

2R ○ 6-3 中野区

QF ○ 6-4 足立区

SF ○ 6-0 23区推薦

F × 0-6 23区推薦

ダブルス 山口 凷さん・鈴木 南帆さん(ショートスリーパーズ)

1R BYE

2R ○ 6-4 港区

QF ○ 6-2 杉並区

SF × 4-6 江戸川区

(松崎監督コメント)

【シングルス戦 (遠藤さん)】

* 一回戦 6-2 (目黒区 吉村)

朝一でしたが、遠藤さんのショット&サービスをまともに返せず勝利。

* 二回戦 6-3 (中野区 井上)

初戦の横でやっていたのを試合しながらしっかりチェックしていて、さらにしっかり打っていかないとと言っていた通り、ギアを上げてきっちりと勝利。

* 準々決勝 6-4 (足立区 早川)

毎年優勝している相手です。見ごたえのあるラリーが続きます。応援している方は息が止まります。シーソーゲームですが、ビハインドが続きます。3-4 から 4-4 となり、遠藤さんも早川さんもギアがどんどん上がります。見応えあるとかそんな言葉では言い表せないラリーの応酬。そこからは遠藤さんの世界でした。5-4 となり、そのまま 6-4 で勝利。

* 準決勝 6-0 (23区推薦 木賊)

早川さんのすぐ後の試合だったからなのか、遠藤さんのショットに全くついていけず、あっという間に勝利。練馬区を背負って立つ方です。信じられない展開でした。

* 決勝 0-6 (23 区推薦 清水千夏)

元プロです。「はじめて対戦するのが楽しみです」と言っていました。清水さんは前回木賊さんと対戦して 6-4。その相手をタコで降した相手、早川さんにも勝ってきている、きっと彼女は心して試合に向かったはずです。

遠藤さんのショットを倍返ししていました。遠藤さんも素晴らしいショットを打っているのです。でも、倍返しの信じられないショットが返ってきます。結果は 0-6 でした。遠藤さんは「とてもいい練習になった」と頼もしいですね。きっと、また糧にするはず。応援している方は痺れまくりです。

【ダブルス戦 (山口さん・鈴木さん)】

* 初戦・二回戦 6-4 (港区 藤澤・村上)

相手は一試合やっています。あれよあれよという間に 0-3 になってしまいました。ですが、二人はさすが全国レディース卒業生、そんな状況でも二人笑顔で少しずつ少しずつ追いついていきます。2-3 になったところからは、いつものペースで勝利。

* 準々決勝 6-2 (杉並区 堤・野口)

都大会団体戦の時に山口選手は対戦してタイブレで負けている相手です。が、その時はなぜ競ったのかというほど、あっさり勝利。山口さんの風に負けないストロークで押し、鈴木選手があっちにこっちに決めました。

* 準決勝 4-6 (江戸川区 井上・岩見)

井上さんは千葉の全国レディースの卒業生です。また更に風が強くなっています。ビハインドですが、シーソーゲームが続きます。ストローク戦で少しミスが多かったこと、前衛にストレートとストレートロブを打ったりと、よく考えてきているなど思いました。そしてポイントがかかったところできっちり攻撃してきました。攻撃は最大の防御ですね。少しの差です。次の対戦はきっと勝ってくれると信じています！



遠藤さん・鈴木さん・山口さん



遠藤さん



鈴木さん・山口さん